

生成AI時代の メディア業界動向 + α

2025年4月10日
コンテンツツジャパン 堀鉄彦

自己紹介 堀鉄彦

（株）コンテンツジャパン代表取締役、 加フォルクナースタジオとAIシステム開発中

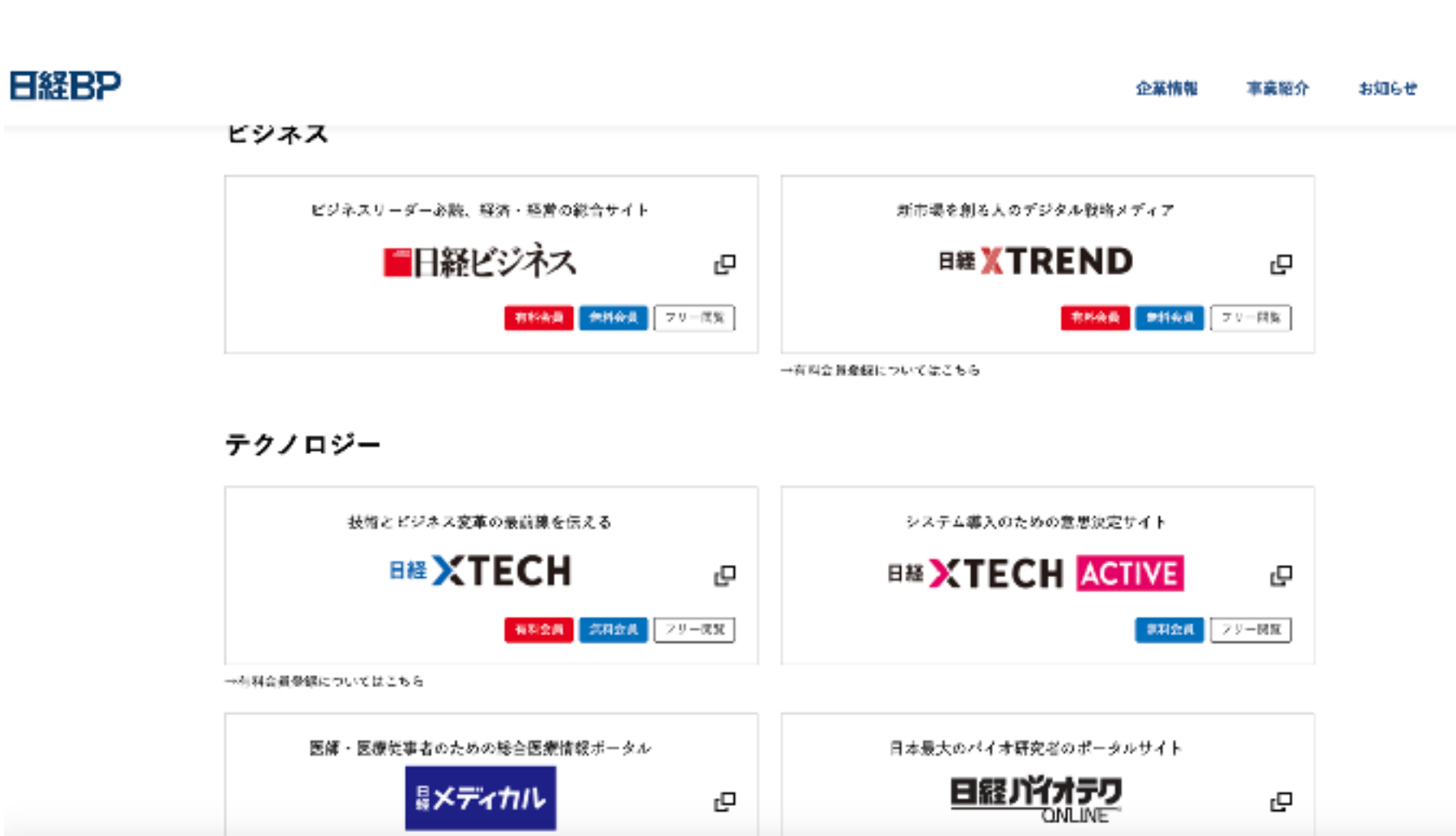
公益社団法人著作権情報センター月刊「コピーライト」編集長、株式会社Media Innovation、デジタルコンテンツ白書編集委員、電流協アワード審査委員など。メディア業界紙文化通信などでデジタルメディアの動向を連載

2015年3月末まで日経BP社、IT系媒体のほか、ライツマネジメントを担当

経済産業省の海外コンテンツ輸出調査や海賊版対策などの委員を歴任。

2018年4月に（株）ブロックチェーンハブに参画し、グループ内に（株）コンテンツジャパンを立ち上げる。

2019年7月出版ライツブロックチェーン（経済産業省補助JLOD企画）のプランニングを担当。出版ライツブロックチェーン基盤のPOC開発などの実績



メディア / デジタルメディア

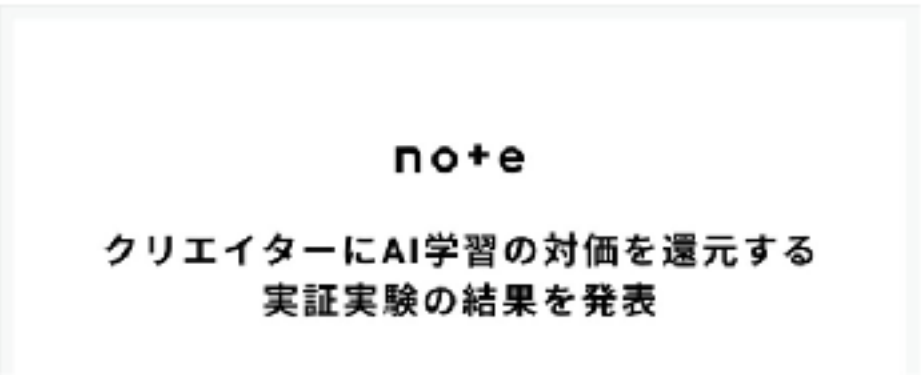
2025.4.8 Tue 14:02

noteがAI学習データ提供者に総額500万円超を還元、1,200名以上が実証実験に参加

- ・noteがAI学習データ提供者に総額500万円超を還元
- ・1人あたりの最大還元額は40万円以上
- ・クリエイターとAIの共存を目指す新たな取り組み



最新記事



【デジタルトレンド】71 「AI教科書」導入で揺れる韓国の教育界 検定のあり方など問題は山積も“避けられない道、か

デジタル ニュース 出版 | AI教科書, デジタルトレンド, 韓国
2025年3月24日

生成AIのChatGPTがサービスを開始してから2年半。い
支える基盤となりつつあるAIの利用で今、最注目分野の
る義務教育の分野だ。韓国では3月から、人工知能技術を
ム「AI教科書」の利用がはじまった。海外の事例をひも
況をまとめてみた。【コンテンツジャパン代表取締役・堀

デジタル教科書と「AI教科書」の比較（※）		
特 徴	デジタル教科書	
主な機能	デジタル化されたコンテンツ、マルチメディア素材提供としての形態が基本	動的かつバ セスを提供し ユーザー、学 習管理機能
相互作用性	限定的	高い
個人カスタム学習	低	高（AIベース）
先生サポート	限定的	授業の設計も
データ活用	限定的	学習学習履歴 分析を提供



トップ ニュース総合 インタビュー 新聞 出版 広告 デジタル コラム 業界スケジュール 電子版アーカイブ 新聞人・出版人

検索



トップ ニュース総合 インタビュー 新聞 出版 広告 デジタル コラム 業界スケジュール 電子版アーカイブ 新聞人・出版人

検索

【デジタルトレンド】70 ミトムソン・ロイターがAIサービス会社相手の裁判に勝訴 法律情報サービスのコンテンツについて「フェアユース」否定

デジタル ニュース 新聞 | AI, トムソン・ロイター, ロス・インテリジェンス
2025年2月25日

多国間大手情報サービス企業のトムソン・ロイター（以下、ロイター）が、AI技術を使った法律調査サービスのスタートアップ企業であるロス・インテリジェンス社（以下、ロス社）に対して起こしていた、著作権訴訟の第一審判決が2月12日に下され、米国著作権法に定められた「フェアユース」の適用が否定された。今回は大規模言語モデルを使った生成AIのものではなく、データ学習や利用のプロセスは異なるが、フェアユース（公正利用）の文脈で AIにつ
いて考える際に、裁判所が各事件の事実をどのように分析するのかを指し示す。現在多数進行中の生成AI企業との裁判の先例となる判決として、注目されている。【コンテンツジャパン代表取締役・堀鉄彦】



「ストレートニュースの価値はゼロになる」かも？という恐怖 メディアはどのようにAIと向き合うべきか？



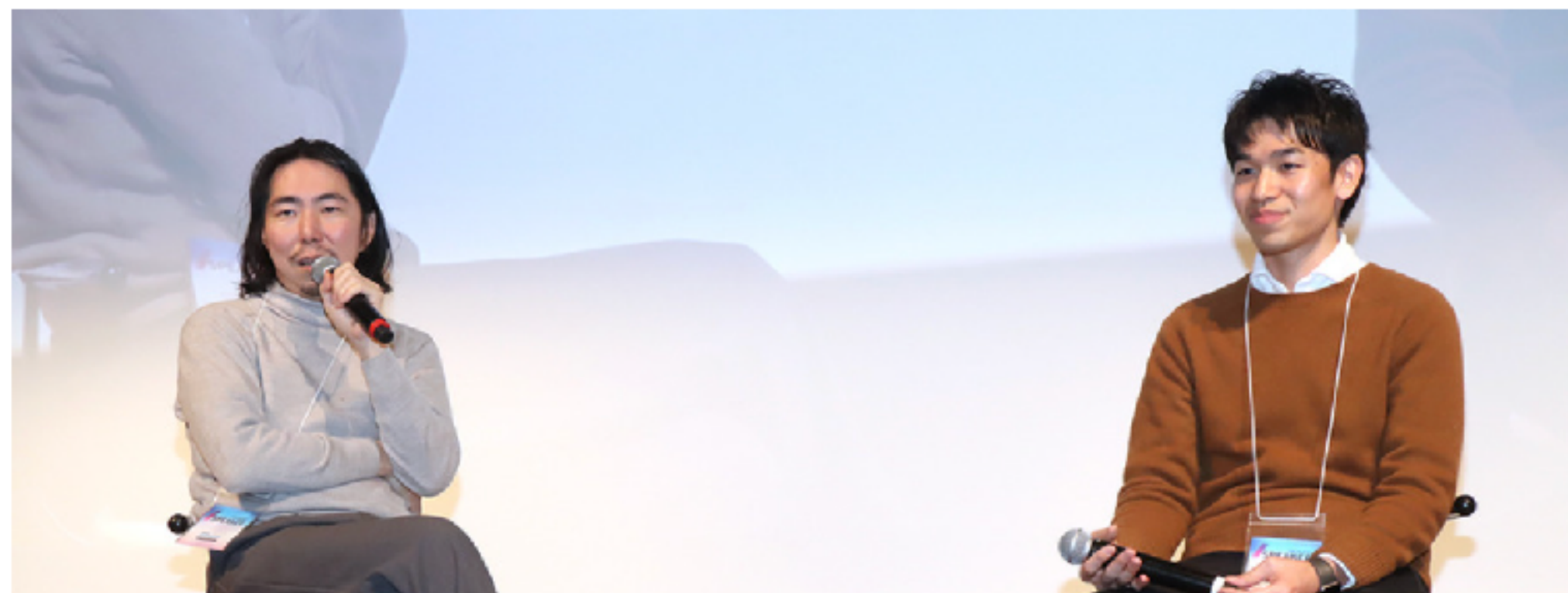
Media Innovation Guild に登録すると読める限定記事は3000本を突破！会員はおかげさまで2.5万名突破！

メディア / デジタルメディア

2025.3.28 Fri 12:02

「ストレートニュースの価値はゼロになる」AI時代にメディアはどう戦う？ 【Media Innovation Conference 2025】

- ・AIがメディアのコンテンツ制作を変革する
- ・ニュース配信の価値が低下する可能性
- ・AI活用には戦略的な考え方が重要

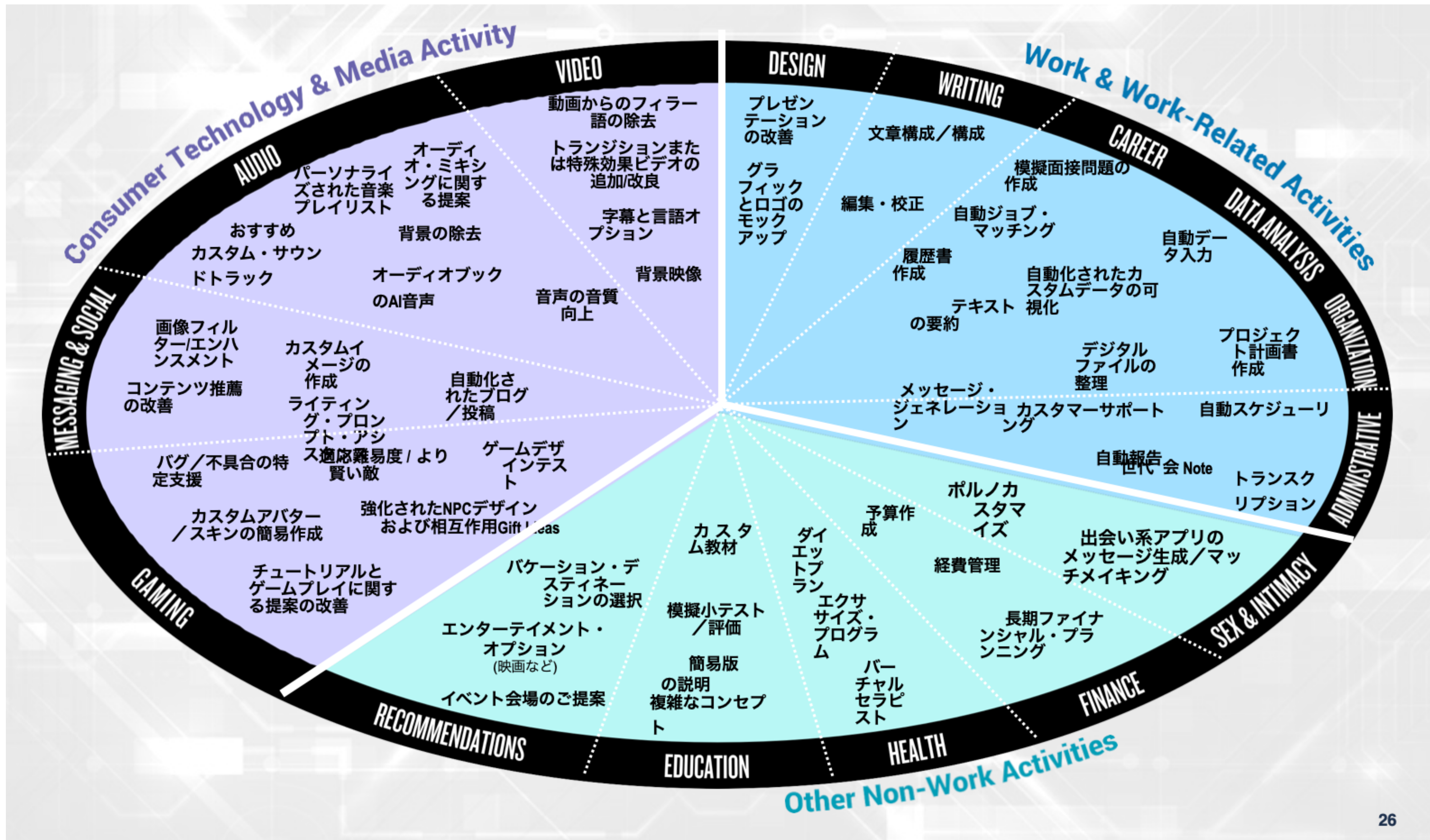


最新記事



地域新聞社、全国164媒体と連携した集客支援サービス「ロカリーチ」開始・・・フリーペーパーや地域情報誌と連携





生成AI時代のメディアの課題①

- ・ 製作支援という領域ではかなり利用が広がっている。CMSへの組み込み（プラットフォームとしてはnoteやSubstackなどがさまざまなAIと連携）や投稿データを元にした再生産効率化の構想も
- ・ ニュースメディアではドイツ最大手の新聞、Axel SpringerとOpenAIの契約を皮切りにAI企業と開発パートナーシップを結ぶメディア増加。共同通信はGoogleと契約
- ・ AIをメディアのUXに組み込む動きがでてきている。目立ったところではAxel Springer、DowJones、日経、東洋経済など。自社DB×AI、他社DB含めた総合DB×AI・・・
- ・ ブリタニカやHBRなどAI時代の「ファクト基盤」としての要素が評価され、収益的な実績生み出すところも
- ・ まずは生産性向上→次に既存メディアと連携するUI・UX改善→**AIファースト型のビジネスモデルは？**

生成AI時代のメディアの課題②

- ・ナレッジ基盤として最大の課題は、メディアが「ファクト」を支える基盤であり続けるためにはどうすればいいか
- ・著作権を守る仕組みをどうするか（ProRata.ai（AIハッキング技術）の登場とメディア基盤としての可能性）
- ・エージェントを介した究極のパーソナライズ（ダイナミックプライシング、動的広告配信、動的UI・・・）などAI時代のメディアエコシステムについては、模索が進む
- ・コンテンツのパッケージングや配信サービスそのものをエージェント化することで可能性がひろがるのではないか??

ということで開発を始めました

開発終わった「AIを介した全事業ナレッジ継承システム」 メディアにも応用可能（加フォルクナースタジオ社と開発）

データ概要

ファイル名

A-1以降要約用テキ...

サイズ

704.5 KB

処理日時

2025-04-09 13:25:07

基本分析

感情分析

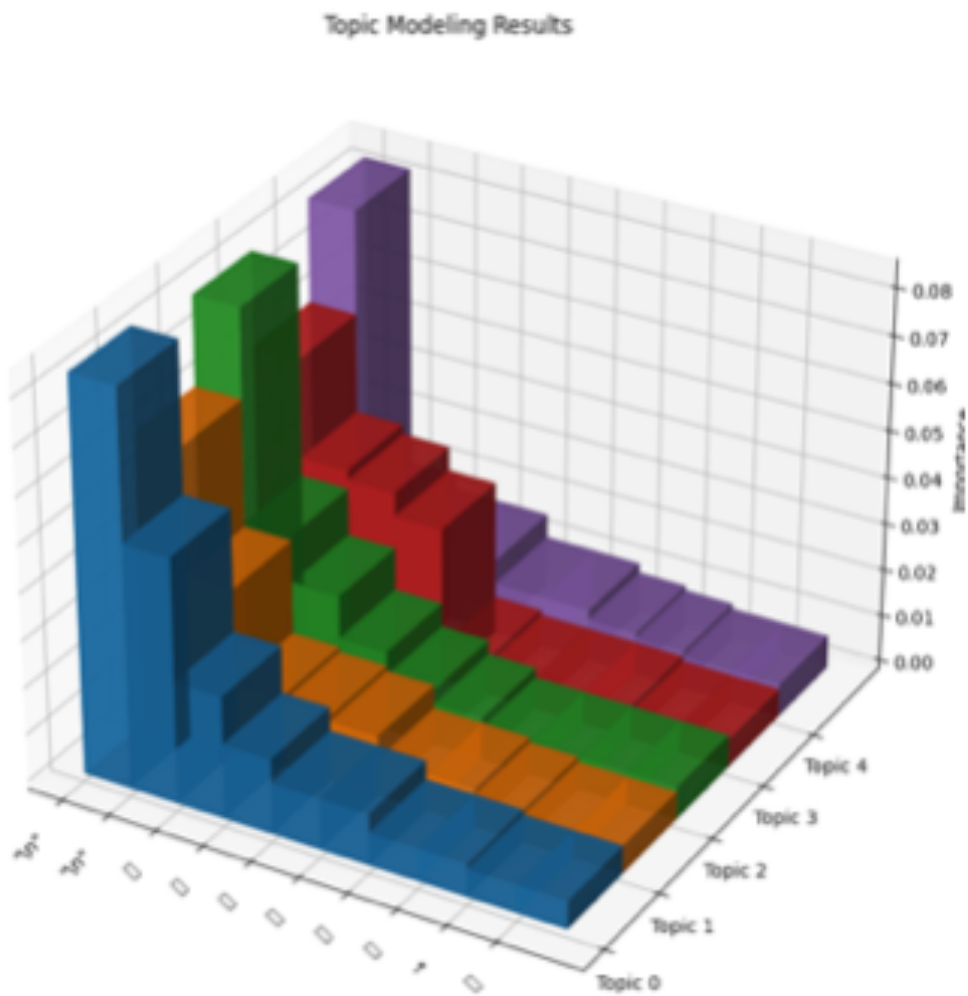
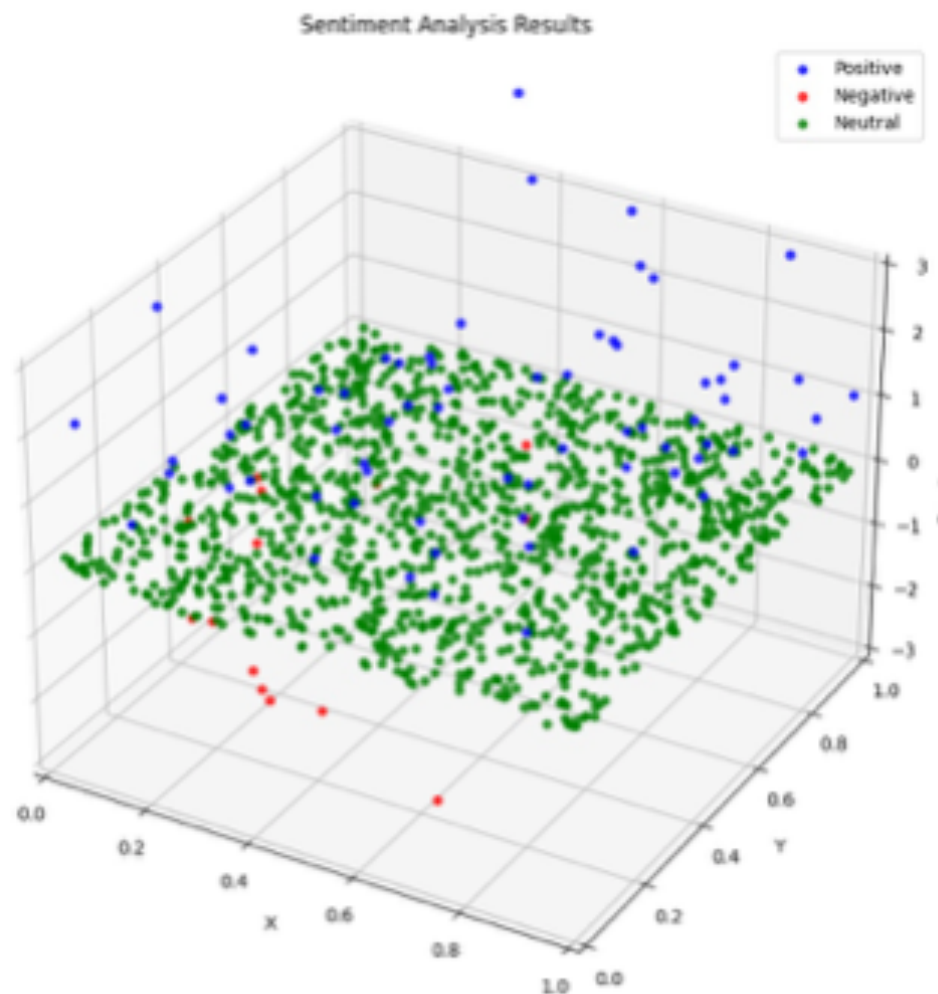
知識抽出

パターン認識

データ管理

分析結果履歴

ノウハウ可視化 例



フォルクナースタジオとは自律型のエージェントを使ったメディアビジネス全体の智能化システムを開発中 未来のメディアのUXがエージェントでどう変わるか？

- ・ エージェントがUI・UXの起点となるメディア基盤
- ・ トラベリングエージェント & MCP & 検索システムを介して RAG、各種DBなどのナレッジを統合・制御
- ・ MCP（AIの世界の接続規格）を使って、対応AI基盤、対応DBと自由につながり、情報を活用可能な基盤構築

自律型エージェント (Traveling Agent)

